

特集 SPECIAL FEATURE

北から、南から、海の向こうから

21世紀の幕開け第1号となる本会報。特集では、日本にとどまらず海外まで、津々浦々に散らばったOBに、地元で今、何が起きているのかから、自身の近況報告や地元の名店紹介まで、思い思いに書いてもらいました。

出張の際に、友好を深めていただくのもいいのでは。

帯広から

照本 隆一(部9期)
帯広市都市開発部都市計画課

「断るのも勇気だよ」と高校1年の愚息に言われつつも、また、同期のいい恥と言われかねない不安を抱きつつも、21世紀に突入する余勢をかって、1974(S49)年3月卒業9期生の一員の北海道におけるこれまでの状況などを書かせて頂きます。

卒業後、何の因果か北海道庁に採用され、札幌市(全道の公営住宅の整備関係)を皮切りに根室市(建築指導及び開発指導など)、倶知安町(根室と同様の職務)、札幌市(営繕設計と現場)、帯広市(下水道施設整備)、稚内市(公営住宅、建築指導及び開発指導など)、網走市(稚内と同様の職務)、札幌市(地域開発構

築理会ではホームページを開設しています

URL=<http://www.chikurikai.org>

幹事会でかねてより検討していた、会報の電子化ですが、いよいよ実行に移すこととなりました。

PDF形式でアップロードする予定です。これから技術的なことを詰めていくのですが、近日中に出来るようがんばります。

次号からは発行と同時にアップできるようになると思います。内容の充実化を図っていきますのでこまめにチェックを!

想、その後公共賃貸住宅関連及び公営住宅建替事業)そして現在帯広市(市に派遣され都市計画)と、北海道内を転勤してまわっており、改めて振り返ってみると、小生の性格どおり落ち着き無く転々かつ点々と渡り歩いたものだと感じ入るところです。

採用後2年程して、恩師平野先生が札幌の職場を訪れ激励していただき、誠に恐縮したことも昨日のことのように思い出されます。

我が来し方を書けば愚痴ばかりになりそうなので、現在の帯広市の街の話題を一つ。街なかに鹿がおります。雄が1頭、そして雌1頭と子鹿が数頭、帯広の中心繁華街に動かずに居り、野次馬が来るのを待ちかまえております。

また、帯広の「六花亭(0120-012666)」や「柳月(0120-255566)」といった菓子屋は知る人ぞ知るところとは思いますが、帯広に来られた際には是非、豚丼をご賞味して頂きたいと思います。「JR帯広駅北口近くに「ばんちょう(0155-22-1974)」という豚丼専門店があり、おすすめです。



リニューアル築理会報!

本号から築理会報をリニューアルしました。大きく変えたのは次の3点です。まず、これまでのB5サイズをA4サイズに変更。内容のボリュームアップを図ると同時に、特集の文字を大きくして読みやすくしました。

2点目は広告の掲載を開始することです。「我が社でもぜひ出稿したい」という方がいれば、築理会事務局までご一報を。掲載料金は、貴重な収入として今後の築理会の運営に役立てていきます。

そして3点目が1面トップにあるタイトルロゴの変更です。「築理会報」を英文で表記したときの頭文字を取って「a.b.c.」としました。より親しみをもって読んで(呼んで)もらえるような会報を目指していきます。

紙面のリニューアルに関して皆さんの意見や感想をお寄せください。

あて先は会報委員会平賀(kahira@mocha.freemail.ne.jp)です。

(会報委員会一同)

仙台から

佐藤 昌宣 (部4期)
(株)スペースプランニング代表取締役

東北地方は各県ともその面積は広いが交通の便は必ずしも良いとはいえない。

仙台から首都圏への出張は片道2時間を切る現在でも同じ県内の気仙沼市への出張は3時間から3時間30分を見なければならぬ。更に列車の本数を考えると前もって出発



時刻を決めていく必要がある。また、私鉄や地下鉄の発達は極めて悪く、料金も割高となっている。

東北地方といっても面積が広い気候は様々である。福島県から宮城県南部の太平洋岸の冬はやや温暖であり、青森、秋田地方の冬は寒冷地となる。また、太平洋岸といっても車で30分も内陸に移動すればそこは積雪地方になってしまう。一般的に東北地方の建築物は寒冷地対策が施されている。

- ・給水や基礎の凍結防止対策
- ・冬場の結露防止対策
- ・屋根や敷地内の積雪対策(除雪対策)
- ・屋根のつらら対策

東北地方の雪は北海道地方の雪に比べ重く湿った雪になることが多い。その為、雪に対する寒冷地対策は北海道地方とは異なる。

路面も同様で昼間は溶けて水を含んだシャーベット状となり、夜間は凍ってアイスバーン状となり安定しない。

東北地方のすばらしい点は、首都圏に比べ通勤時間が短い点である。概ね30分から1時間圏内がほとんどである。また、自然との接点も身近で、ゴルフ、スキーをはじめ海や山そして温泉も身近で楽しめる。車で30~60分圏内がほとんどである。

仙台駅を降りると目の前に広がるビル群は他の都市とあまり代わり映えしない。車で15分も西に走れば「杜の都」とうたわれた面影が漂う青葉山の原生林にたどり着く。また、青葉通りや定禅寺通りのけやき並木は仙台の特徴のひとつと言える。

仙台に来たらぜひ「牛たん」を食して欲しい。そのスタイルは昔のままで、麦飯 テールスープ 漬物がセットになっている。数有る中の2店を紹介。

伊達の牛たん本舗

青葉区国分町1-8-13 Tel.022-263-7710 11:00~21:30

仙台牛たん本舗

青葉区一番町4-2-2 Tel.022-215-4485 11:00~22:00

名古屋から

富川 桂二朗 (部14期)
大成建設名古屋支店設計部シニア・アーキテクト

大成建設設計部に入り12年が経ちます。基本的なスタンスとして学生時代から興味のあったコートハウスを中心に造り続けていますが最新作は写真の大同工大で2000年末に完成しコートハウスというには少し大きいですがスクエアな構成の中に円弧を持ち込み動きを創り出す手法は保養所サンウツミ50(新建築95年12月号)と同じです。これはロサンジェルス東1時間にあるリバーサイドミッションインというスペイン中庭風の建物を改装してホテルにした建物から影響を受けたものです。5階ぐらいの建物が適度な中庭を囲っていて様々な空間や階段、からくり時計などが用意されていてヨーロッパでもお目にかかれないようなものでお勧めです。現場の所長が工学部10期の植松氏、副所長が工学部井口研出身の松井君と理科大OBで造ったような物です。また2001年5月には浜松にローランドの研究所が完成しますがこちらはスクエアで透明感のある今風の建物です。ここの所IT化でこの歳になって一生懸命にCADをやっていますが景気の影響は深刻でこの原稿が載る頃には世の中どうなっている事やら。

中部の建築トップ3は豊田市美術館(谷口)、北方住宅(妹島)、テクノプラザ(ロジャース)でしょうか?テクノはやはり鉄骨の方が良かったかも。

食べ物では2000年オープン名古屋セントラルタワーズ12階のラーメン江南はいつも混んでいて未だに食べられません。あっさりしていてうまいとのこと。鰻は名古屋独特の「ひつまぶし」が有名で宮鍵。名古屋駅裏口のロータリー向かいの中華でカルビー麺もお勧め。ラーメンに焼き肉が載っていてなかなかです。



境港から

京久野 俊二(部15期)
京久野設計工房

北風と速さを競うように師走の日々は早く、仕事は山のように溜まっています。

「傘を持って行きなさい。」と、母。「うん、わかった。」と、子供。親の言うことを聞かないのは子供。学校帰りに雨が降れば、帰り道の軒の下。止まぬ雨に、子供は待ちきれず、あとは何時もの母の小言。墨色の空に大きな木が幾つも横たわって、じっと見ていると何かがいるみたい、きっとあそこには妖怪がいるのだと小さい頃思っていました。墨色の空は柿渋とすすだと知ってからも、怖いところです。小さい頃のそんな空間が、私の心象風景でしょうか。

「妖怪のまち(水木しげるロード)」へ、ようこそ。妖怪神社に妖怪のブロンズ像、モルタル妖怪像(毎年コンテストをしています。)水木しげる氏の空想力と創造力が、この町に乗り移る日を楽しみにしています。また、故植田正二氏(岸本町には植田正二美術館：高松伸氏の自宅がこの近くにあり、鳥取西部大地震で少し傾いていますが、娘さんは「修繕をして、植田正二写真館にできたら」と。



< 昼・夜の食事 >

魚山亭(ぎよさんてい)

鳥取県境港市上道無番地 TEL: 0859-42-2337

峰(みね)

鳥取県境港市花町 TEL: 0859-42-2601

< 夜のみ >

あじ亀(あじき)

鳥取県境港市栄町 TEL: 0859-42-4666

美の幸(みのこう)

鳥取県境港市上道町 TEL: 0859-44-5058

< カ二、魚(注文発送) >

川口商店

TEL: 0859-42-2577 FAX: 42-2979

宮崎から

黒木 嘉敏(部22期)
木倉建設専務取締役

私は現在、宮崎県の日向市で建設会社に勤務しています。会社は、従業員20人弱の典型的な地方の中小企業で、私の仕事は建築の営業から設計、積算そして現場管理です。(ようするに建築全般)

県内の建設の状況は、これといった明るい材料もなく、将来に不安を抱えながら、厳しい受注競争下で仕事をしております。

よく南九州の経済は「旅客機の後輪」に例えられます。機体(景気)が離陸(上昇)する時は、一番最後になり、着陸(下降)する時は一番最初に地に付くという意味です。ですから、バブル時の恩恵も少なかった分、バブル崩壊直後に致命的なダメージもあまりなかったと言われていました。

しかし、不況が長引くにつれ、建設業の倒産も相次ぎ、企業間の合併、業態や業種を変える会社も目立ってきました。まさに淘汰の時代の到来です。価格競争や公共工事削減等の厳しい側面もありますが、地方中小企業ならではのフットワークや地域性を生かし、独自のスキルを身につけ、これからも建築に携わっていきたいと思います。

最後に、宮崎のおすすめの店を2店ご紹介します。出張などの折には、ぜひ、ご利用ください。

丸万

宮崎市内 0985-22-6068

地鶏専門の店で、市内に3~4店舗あります。

地鶏のもも焼きがおすすめです。

入船

西都市 0983-43-0511

創業100年の炭火焼きうなぎの店

宮崎市内から車で1時間。

一度ご賞味ください。



パリから

横尾 建太 (部15期)

FREDERIC BOREL & ASSOCIES ARCHITECTES

フランスに来てからこの春でもう6年の月日が流れることになります。パリの建築学校を卒業して、現在はC・ポルザンパルクの事務所を経て独立されたフレデリック・ボレルという仏人の建築家の下で、建築の設計・製作に携わっています。42歳というまだ若手の建築家を中心に事務所員と向かい合い、模型やエスキースを通して設計を進めながら、お互いにそれぞれのアイデンティティを上手く織り込んでいけるような共同作業を続けています。



「Rever de l'espace (空間を夢見る)」「Inventer l'histoire」(物語を創作する)等々の建築家本人のよく口にする言葉に見て取れる様に、非常に抽象的な表現やイメージを元に、私達それぞれがコンセプトを練ることを始めています。

それはプロジェクトの初期段階から彼が掲げるmetaphoreを設計の初原的風景として捉えながら、それが建築の意匠性をいかに抽出し得る様なコンセプトへと継続していくかという観念的作業を含んでいます。更には、コンテキストやプログラム等から浮かび上がる複雑な要因を高次の次元へとまとめあげる段階で、コンセプトをどの様に建築的な提案として置き換えられるかを探っています。

先日、ルノー社の車のショールーム、オフィス、会

議施設のコンペを提出したばかりで、現在はパリの19区に集合住宅の設計を始めています。一方で、裁判所、小学校、高校、大学等のプロジェクトが仏国内に同時に進行しています。

フランスでは近年、J・ヌーベルやC・ポルザンパルクの次の世代として、意欲的な活動をしている建築家として、ジャコブ/マックファーレンやバッサル/ラカトン等の動きが注目をあびています。

市内で私が気に入っているお店といえば、マレ地区にある"Rendez-vous des amis"や、リュクサンブルグ公園とパンテノン宮殿を結ぶ通りにある"Les Fontaines"等がおすすめです！どちらのレストランも仏料理が割と手頃な値段で美味しく食べられますよ。旅行の際には足を運んでみて下さい...

Bar-Restaurant "Au Rendez-vous des amis" Anne et cyril

adress: 10, rue Sainte Croix de la Bretonnerie, 75004 Paris
tel: 01.42.72.05.99

"Les Fontaines"

adress: 14, rue Soufflow, 75005 Paris
tel: 01.43.26.42.80

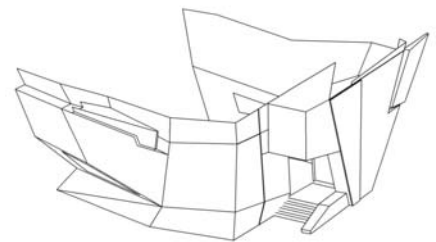
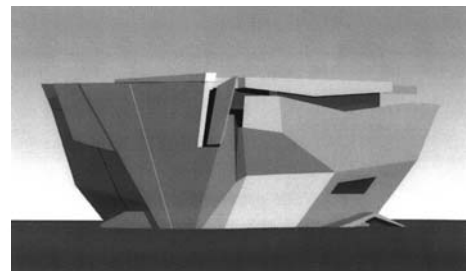
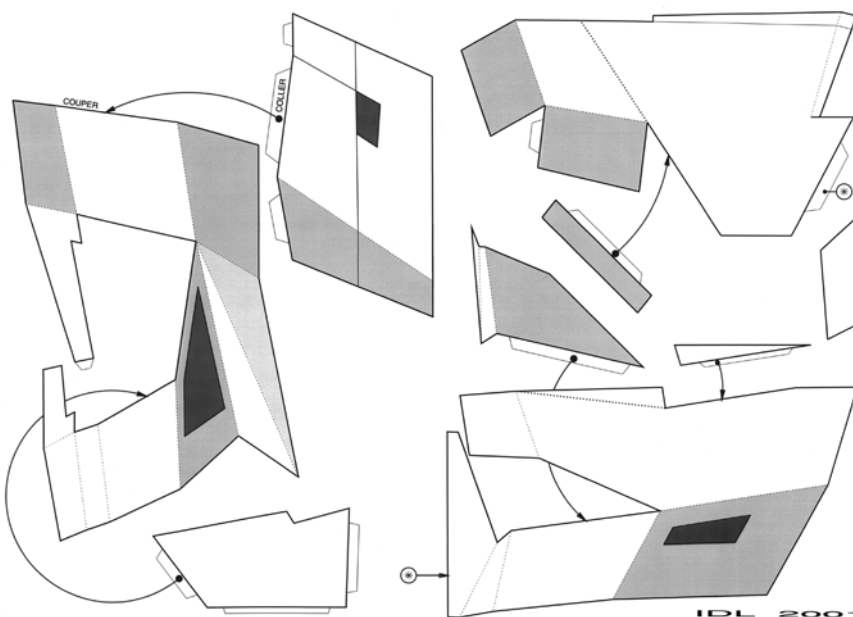
横尾氏から原稿といっしょにNewYearCardが送られてきました。

なかなか面白いカードでしたので、掲載させていただきます。レイアウトは変更してしまいましたが、2つ折りのカードの外側には左側の絵が全面にあり、内側には右の二つの絵が左右のページにあり、メッセージが書いてありました。

切り取って張り合わせるとフレデリック・ボレル氏の建築の模型が出来るようです。

みなさんも是非作ってみてください。(会報委員会=平賀)

(注: 無断転載厳禁です。)



Frédéric Borel, ses associés, et ses collaborateurs
vous présentent leurs Meilleurs Vœux
pour l'année 2001

平成12年築理会活動報告

昨年の各委員会の活動概要を報告いたします。

- ・事業委員会：懇親会の開催（3月）
セミナーの開催（2月、10月）
- ・会報委員会：築理会会報の発行（3月、9月）
- ・名簿委員会：築理会名簿の発行（4月）
- ・情報委員会：ホームページの一新（10月）
- ・企画総務委員会：総会の開催（3月）
幹事会・常任幹事会の開催
（1、4、7、10月）
野田建築会懇親会出席（5月）

平成12年決算報告・平成13年予算案

昨年は新たに32人の方が終身会員になられました。今年度から会報、名簿に企業広告を載せ、収入の一部に充当する予定です。築理会は会員皆様の会費で活動しております。会費納入にご理解とご協力をお願いいたします。

（企画総務委員長＝坂下誠、1部2期）

平成12年築理会決算報告

収入		支出	
平成11年度繰越金	1,060,156	会報(2回)	1,015,440
築理会年会費	1,211,000	名簿	587,129
築理会終身会費	960,000	HP維持費	43,200
セミナー(2回)	20,000	セミナー(2回)	83,050
総会・懇親会	160,000	総会・懇親会	202,500
		事務費・運営費	264,253
		通信費	9,940
銀行利息	231	繰越金	1,205,875
合計	3,411,387	合計	3,411,387

平成13年築理会予算案

収入		支出	
平成11年度繰越金	1,205,875	会報(2回)	1,150,000
築理会会費	1,940,000	名簿	600,000
セミナー(2回)	30,000	セミナー(2回)	150,000
広告	250,000	HP維持費	45,000
		事業費・運営費	200,000
		通信費	60,000
		予備費	100,000
		繰越金	1,120,875
合計	3,425,875	合計	3,425,875

築理会の組織力の増大に期待する

森本 仁 (部1期)
鉄建建設技術研究所所長

卒業後、それぞれの分野でOBが活躍しています。社会人の中で新入生から、定年を迎えるまでずっと揃ったに過ぎません。立派なOB会の集団になってきました。しかし、まだまだ未熟な集団で、長老がいません。一例を挙げます。

もし日本建築学会に所属しているとすれば、会員には1年に一度、評議員選挙があります。評議員が学会会長を選び、会長が理事を指名し、学会が運営されていることはご存知のことと思います。

学会の資料(小生が会員委員会の委員をしていたとき)によりますと、理科大の卒業生の会員数は約1200人。これだけの会員がいれば、120人の評議員に3人から4人の委員を送る事が出来ます。実情は殆ど0です。評議員の出身校は一部の大学に独占されています。築理会の組織の中から同士を活躍させるには、まだまだ未熟な組織であることがわかります。

それには、打開策があります。築理会をもっともっと活性化させる事です。理科大卒業生(工学部・理工学部)の中に色々な交流会を結成することです。それが築理会の活性化になり、卒業生同士を結び付け、そこに連帯感が生まれます。交流会は遊び、趣味、仕事の面の何でもOK、自ら進んで参加できる会をつくり、毎月、何処かで築理会の会が開かれているようになれば自然に築理会の組織は増大します。21世紀は交流会を作って活動しましょう。

出身校別会員数と評議員構成 1997、5調べ

	会員数	全対比A	全対比B	評議員	C	D
日大	4032	10.9	13.1	32	26.6	2.4
早大	2452	6.6	7.9	28	23.3	3.5
東大	1578	4.2	5.1	7	5.8	1.3
京大	1309	3.5	4.2	10	8.3	2.3
東理大	1200	3.2	3.9	0		
東工大	1134	3.0	3.6	4	3.3	1.0
芝工大	782	2.1	2.5	0		
北大	774	2.1	2.5	5	4.1	1.9
その他	7338	21.2	24.2	9	7.7	
計	20599	55.8	67	95	79.1	

全体の会員数=36,888人
A=会員数/36888
B=適正評議員数:120×A
C=評議員/120
D=評議員/B
上位20校の会員数は20599人、全体に占める割合は55.84%。
評議員が選出されている出身校は9校、全体数に占める割合は35.58%。
9校の評議員の占める割合は79.1%に達している。
適正評議員数と表議員数の格差は、早大3.5、日大2.4、京大2.3、北大は約2.0、東大1.3、東工大約1倍である。
評議員は特定の出身校に偏った傾向となっている。

全国130校・600常備教室。建築関連資格教育のパイオニア

日建学院

受講生受付中

厚生労働大臣指定講座

- 1級・2級建築士学科
- 1級・2級建築士総合設計

教育訓練給付金制度有
30万円(上限)が支給
されます。

※支給条件がありますので、必ず最新の
日建学院へお問い合わせ下さい。

案内書無料請求

1級・2級建築士出身合格者
193,541名を輩出
(22年間の実績)

データに裏付けされた
確かな「実績」にそが
真の「実力者」を生む!

株式会社 建築資料研究社 日建学院

東京都豊島区東池袋1-21-16 日建学院ビル7F
フリーダイヤル 0120-24-3229

Homepage http://www.ksknet.co.jp/nikken/
E-mail: nikken@ksknet.co.jp

1・2級建築士
合格率業界No.1!

1級建築士
63.2%

2級建築士
56.2%

※昨年度実績 合格者占有率

読後感「呑流建築雑話」

中島 健一朗(部15期)
郵政事業庁施設情報部建築課

本書の著者、理科大第1期生の野々村俊夫氏は、当時郵政省の建築技官の最高峰、本省建築部長を務めた人である。省の幹部となつてからは、日米建設協議、公務員の天下り企業の問題と、建設業界にとっても公務員にとっても激動の時代の始まりであり、伝統ある、あるいは苔むした通信建築を立てなおすべく果敢に組織改革を行った「哲学者」であった。本書は、そのような時代に氏が自ら直面し、悩み考えた事柄が多く綴られている。



本書の中から引用すると、近代建築を支えたイデオロギーについて「便利なシロモノ」。ポリスボックスや公衆便所のデザイン潮流に対し、「極めて卑屈にマスへ媚を売り、ひたすらマスへ迎合しながら、本当は蔑視している公共の姿勢」。「地球にやさしい」とは、「傲慢・・・途方もない思いあがり」等々、辛口であるがゆえ痛快である。

題材が多様に展開される中、非凡で過激な切り口と論理、裏付ける具体的データの畳み込むような連発、比喩や修飾の的確さとあくの強さといった独特の語り口が全編に共通している。そして、それがあたかも音楽のベースやドラマの鼓動のように常時響き、いつしか読み手を魅了し陶酔させていく。しまいには、表紙の野々村さん似の不気味な鬼が不思議にも高貴に思えてくる。

本書は、このように読んでいて楽しめる本であると共に、圧倒的に豊富な知識と高い見識に支えられた知の凝集でもある。小生のような凡人には、建築の基礎的教養、データ集としても使えるところが嬉しい。実のところ、知り合いには内緒にしておきたいぐらいになる本である。

「ガンバレば、おもしろい時代？」

山田 脩治(部6期)
山田プランニング代表取締役

幕末には黒船に腰を抜かした日本。しかしその後は世界の軍事大国に...。そして、第二次大戦では大敗の日本。しかしその後は世界の経済大国に...。だから今度はIT大国に?...なるかどうかは分からない。しかし、少なくともIT革命勃発の条件はそろっている。「企画室代行業」をキャッチフレーズとする私の仕事も、最近ではITの絡みが多くなっている。しかし、やればやるほど奥が深く、これがどのくらい社会を変えていくのか予測がつかない。

かつて、電話が出現し始めた頃、人々はあの阪神大震災のような「電話が使えなくなった混乱」を予測出来たであろうか?...もちろん出来たはずがない。ところが、インターネットの機能は電話の比ではない。これが社会に普及した状態で、突然使えなくなったら社会は大混乱に陥ることは目に見えている。理屈では簡単なITだが、社会にもたらす変化は非常に複雑で高度だ。

築理会のホームページも、将来、大きく成長していくことが楽しみだ。そのためならいかなる協力も惜しまない。

今や官民間わず、建築界に大きな影響を持つ者同士が、同窓の信頼をベースに瞬時に情報交換が出来るなんて、実に素晴らしい。だから、これからは築理会の名簿にも、ぜひメールやホームページアドレスを入れて頂くことを提案したい。

ここで憎まれ口を一つ。我々が建築学科の各研究室のホームページはもう少し力を入れて頂きたいと思う。まだホームページが開かれていない研究室があるのは実に心淋しい。我々が母校は東京理科大学。つまり、日本の科学技術の最先端に行く大学である。ITはオープンが基本であるがゆえ、好むと好まざるにかかわらず、単に内部事情に止まらないことを考えて頂ければ幸いである。

【追伸】昨年、丸善プラネットからデザインの本を出しました。題名は「デザインがおもしろい」です。少し売れているようです。お読みいただける方は手持ちの分だけですが、無料でお送りします。山田にメールでお知らせ下さい。ご批評をお願いします。

山田脩治メール yamada@o-i.co.jp
(株)ヤマプラ www.o-i.co.jp

呑流建築雑話

野々村俊夫 (築理会会長)
(元郵政省施設部長) 著

この国のものづくりを斬る辛口の文明批評集。現代建築論、職能、メディアとの関係、音楽ホール、景観保存、果ては映画・漫画など11のテーマに分類し、筆鋒鋭く、文化と建築の関係を解明。ヴェンチャーとの交流録も。

お問い合わせ・お申込みは下記へ

定価：本体2,800円＋税 A5判/470頁 ISBN4-930738-73-3

日刊建設通信新聞社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-13-7
☎03(3259)8719 FAX03(3259)8730
http://www.kensetsunews.com



弊社は、「築理会会報」「築理会名簿」の広告取り扱いをしております。今後とも宜しく願い申し上げます。

建築専門

広告代理店 株式会社 建報社

代表取締役 一文字 俊雄

本社：〒113-0034 東京都文京区湯島2-30-8

TEL：03-3818-1961 FAX：03-3818-1968

支社：〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-4-9昭栄ビル

TEL：06-6231-4548 FAX：06-6227-0268

連載 研究室紹介(第4回)

研究室紹介、第4回目です。日常大学から疎遠になりがちなOBの方々に理科大の今を知ってもらうため、現在どんな研究をしているのか等、研究室内から記事を寄せて頂くコーナーです。

今回は環境工学研です。どうぞお楽しみ下さい。

環境工学研究室紹介

環境工学研究室とは

環境工学研究室とは、7号館4階にある、今日のカリキュラムでは第2部門と言われる環境系の研究室の総称で、「環境研」と呼ばれています。現在は安岡研究室と倉淵研究室の2研究室で、安岡研究室は今年度で5期目、倉淵研究室は今年度で9期目です。つい最近では2年前まで吉澤研究室を合わせた3研究室で環境研だったのですが、吉澤先生の退官とともに現在の2研究室体制となりました。私が在籍する以前の世代としては小木曾研、幸田研、久我研、内田研が現在の環境研の先祖筋にあたるということです。

建築学科で一番の大所帯？

安岡研究室と倉淵研究室は7号館4階に間仕切りを設けずに2研究室で同居しており、日常の生活の場が一緒というだけでなく、ゼミ合宿や研究室対抗サッカー大会、その他研究室の行事は個々の研究室単位ではなく環境研という大きなまとまりで行っています。そのため、今年度では2研究室合わせてスタッフ4人、院生15人、卒研27人という非常に多くのメンバーが行動を共にすることになり、とてもにぎやかです。

測定機器とともに西へ東へ

環境研では自前の実験室を持っていないので、実測は基本的に企業や他大学などと共同・協力のもとで、ということになります。そのため、実測の重なる時期になると院生・卒研生のみでなく、先生方まで学外を駆け回ります。大所帯のわりに研究室に人の気配が少ないのはそのような理由です。

研究テーマ

安岡研究室では主に音や環境心理についての研究が多いのですが、過去には「トイレ」風水」などユニークな研究もあり、近年では電磁環境などの研究も行われています。

倉淵研究室では、換気・通風をはじめ室内の温熱環境や、排水についてなど多岐にわたって研究を行っています。最近では大規模な数値計算のためにスーパーコンピュータも使用しています。

最近の研究テーマの例として、昨年度の修士論文のタイトルを紹介いたします。

[安岡研究室]

- ・楕円平面をもつオーデトリウム音響特性に関する研究
- ・在宅介護用トイレに関する研究
- ・複数残響空間を持つオーデトリウムに関する研究
- ・聴覚情報が視覚的方向判断に与える影響に関する研究

[倉淵研究室]

- ・通風時の室内気流変動特性に関する実験的研究
- ・建築構造体における固体伝搬音の予測に関する研究
- ・室内居住環境の花粉による汚染防止に関する研究
- ・置換換気成層空調システムを用いるオフィスの温熱空気環境に関する研究
- ・CFDにおける風圧力型境界条件の開発に関する研究

昨年度はいろいろと変遷の時期だったため、特に多種多様な研究テーマとなっていました。

ゼミ合宿の様子

環境研ゼミ合宿は、参加人数が多く普通の宿泊施設などでは収まりきらないため、ここ数年は夏休み期間中の8月中旬頃に、理科大の施設である鹿沢山荘が館山研修所をほぼ貸切りの状況で行っています。参加人数が参加人数だけに、多い時には10台前後の車を連ねての大移動です。研究の内容によっては他大学などに通いつめている院生・卒研生も多いため、このゼミ合宿が、研究室のメンバー全体で顔を合わせる数少ない機会となっています。ゼミ合宿の内容としては、昼間はみんなでテニスなどをしてつつ親睦を深め、夜はもちろん...という感じです。ゼミ合宿ですから。

以上、環境工学研究室の紹介でした。安岡研、倉淵研、吉澤研のOBの方々はもとより、歴代の環境研のOBの方々のご連絡・ご訪問を心よりお待ちしております。(嵐口晃宏、。部32期)



2000年度ゼミ合宿(鹿沢山荘)にて

1面にも記載しましたが、今回からご覧のような広告スペースを作りました。

広告掲載は財政難によることもあるのですが、出来るだけ有用な広告を載せていきたいと思っております。

皆さまの会社の広告などは是非掲載をお願いします。

お問い合わせは、前ページの建報社もしくは築理会事務局まで

築理会事務局 TEL: 03-3260-4271 (内3293)

FAX: 03-3235-6897

インフォメーション

平成13年 築理会総会・懇親会開催のお知らせ
今年の築理会総会及び懇親会を下記の予定で開催します。

日時： 5月12日(土)
 総会 午後4:00~4:30
 懇親会 午後4:30~6:00
 会場： 理窓会館(神楽坂) 3階会議室
 会費： ￥4000円

今年の総会は「第2土曜の夕方」に設定しました。例年は平日夜の開催でしたが、「せっかく同級生に会えたのに、ゆっくり2次会ができない!」との声にお応えします。

総会・懇親会で世代を越えた先輩、後輩との新たな交流や情報交換をした後は、懐かしい友と神楽坂で旧交を温める……。

この日に多くの同級会が開かれることを願っています。会員皆様の情報発信ツールとして、同級会の開催通知には、築理会ホームページをぜひご活用ください。

(企画総務委員会・事業委員会)

築理会FAX案内サービス

築理会セミナーや、OBと語る会、現場見学会などの情報は会報及び築理会ホームページに掲載しております。しかしながら、ホームページのみに情報が掲載されることになる場合は、インターネットの使用環境にない方にご迷惑をおかけすることになります。そこで、当分の間FAXによる案内を実施いたします。

ご希望の方は、データ確認カードに「FAX案内サービス希望」と記入の上、FAXにて築理会事業委員会市川までお申し込みください。

東京理科大学工学部建築学科 市川尚紀
Tel 03-3260-4271(内3482) Fax 03-3260-6316

「編集後記」

理科大のOBでも、特に若い世代の中に、海外へ積極的に出て行って腕を磨こうという人たちが目立ってきました。頼もしい限りです。本紙でも、海外で頑張るOBの状況を定期的にお伝えしたいと考えています。友人の情報をお持ちでしたら、ぜひご一報ください。(森 清=smori@nikkeibp.co.jp)

築理会報2001新春号
2001年2月発行 Vol.28

発行所：東京都新宿区神楽坂1-3
 東京理科大学工学部 部建築学科
 築理会事務局 03-3260-4271(内3293)
 03-3235-6897(FAX)

編集長：森 清
 編集委員：広谷純弘、伊藤学、伊谷峰、安達功、千田猛、
 諸岡伸幸、中川信浩、平賀一浩、大野紋子
 印刷発送：グローバルシステム株式会社

平成13年会費納入のお願い

現在、平成13年度の会費の納入をお願いしております。同封の振込用紙にて、お振り込み下さい。今後のさらなる築理会発展のため、多くの方のご協力をお願いします。

年会費 3,500円
 加入者名 築理会
 口座番号 00110-5-171952

募集します!

会報委員会では、築理会報の各コーナーへの記事を募集しています。どんな些細な情報でも首を長くしてお待ちしております。また、建築にこだわらず、おいしい料理の作り方や、うまいラーメン屋情報、あなたの楽しい旅行記、その他の記事・情報、また、はみだしチクリにもどんどんお寄せください。築理会あてFAX若しくは電子メールにてお知らせください。

データ確認カード返送のお願い

住所、職場、部署等に変更のございます方は、下記データ確認カードにご記入の上、築理会事務局までご返送下さいませお願い致します。

最新データに基づいた名簿作成、編集のためご協力をお願い致します。

送付先：築理会事務局 名簿作成委員会
(FAX: 03-3235-6897)

築理会員データ確認カード		記入日: 20 / /
ふりがな:	卒業年	年3月
名前: (旧姓)	(期 研)	
	<input type="checkbox"/> I部	<input type="checkbox"/> II部
ふりがな/勤務先:		
ふりがな/部署・役職:		TEL FAX
電子mail:		
現住所: (〒)		
TEL		FAX
電子mail:		
現住所以外の安定的な連絡先,具体的な連絡方法及びTEL:		
所属学会	<input type="checkbox"/> 日本建築学会	<input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> ()
通信欄		

お手数ですが拡大コピーをしてFAXにてお送りください。